

(様式第9)

府病成312号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

地方独立行政法人大阪府
理事長 高杉

大阪府立成人病センターの業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	41人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	110人	67人	154.8人	看護業務補助	29人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	3人	2.1人	理学療法士	3人	臨床検査技師	64人
薬剤師	20人	9人	26.4人	作業療法士	人	衛生検査技師	4人
保健師	4人	人	4.0人	視能訓練士	人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	445人	13人	454.1人	臨床工学技士	3人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	5人	6人	9.4人	栄養士	人	その他の技術員	2人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	118人
管理栄養士	1人	2人	2.6人	診療放射線技師	36人	その他の職員	82人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	416.5人	0人	416.5人
1日当たり平均外来患者数	1085.8人	0人	1085.8人
1日当たり平均調剤数	入院520.1剤	外来 98.9剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンピンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	78人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	①有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能的及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人

無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人
--	-----	---

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	①・無	192人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	1人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	2人
・多発性硬化症	8人	・ウェゲナー肉芽腫症	人
・重症筋無力症	15人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	37人
・全身性エリテマトーデス	人	・多系統萎縮症	1人
・スモン	人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人
・再生不良性貧血	23人	・膿疱性乾癬	人
・サルコイドーシス	8人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・原発性胆汁性肝硬変	15人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	3人	・重症急性膵炎	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	34人	・特発性大腿骨頭壊死症	人
・結節性動脈周囲炎	1人	・混合性結合組織病	2人
・潰瘍性大腸炎	20人	・原発性免疫不全症候群	人
・大動脈炎症候群	5人	・特発性間質性肺炎	1人
・ビュルガー病	1人	・網膜色素変性症	6人
・天疱瘡	人	・プリオン病	人
・脊髄小脳変性症	16人	・原発性肺高血圧症	1人
・クローン病	人	・神経線維腫症	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・悪性関節リウマチ	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	23人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	人
・アミロイドーシス	3人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	人
・後縦靭帯骨化症	11人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	9回	
剖検の状況	剖検症例数 33 例	剖検率 23.1 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究補助費等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
地域がん登録資料のがん対策およびがん研究への活用に関する研究	井岡 亜希子	調査部調査課	21,770	補 厚生労働省
がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援とその評価の具体的方法に関する研究	津熊 秀明	調査部	1,500	補 厚生労働省
保健・医療機関受診者を対象とした禁煙支援方法の開発と評価に関する研究	田中 政宏	調査部調査課	1,300	補 厚生労働省
がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究	中山 富雄	疫学課	800	補 厚生労働省
喉頭機能を温存した頭頸部がんの標準的治療法の確立に関する研究	吉野 邦俊	耳鼻咽喉科	11,820	補 厚生労働省
がん専門医療施設を活用したがん診療の標準化開発に関する研究	吉野 邦俊	耳鼻咽喉科	800	補 厚生労働省
日本人女性の乳がん発症リスクに対する新しいロジスティック回帰モデルの臨床応用に関する研究	菰池 佳史	乳腺・内分泌外科	11,270	補 厚生労働省
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	荒木 信人	整形外科	1,500	補 厚生労働省
すりガラス状陰影を伴う肺がんの診断・治療方法の確立に関する研究	児玉 憲	副院長	1,200	補 厚生労働省
がん専門医療施設を活用したがん診療の標準化開発に関する研究	堀 正二	総長	800	補 厚生労働省
がん専門医療施設を活用したがん診療の標準化開発に関する研究	大植 雅之	消化器外科	800	補 厚生労働省
大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療に関する研究	大植 雅之	消化器外科	1,000	補 厚生労働省
地域がん専門診療施設のソフト面の整備拡充に関する研究	淡田 修久	副院長兼診療局長	1,000	補 厚生労働省
乳房温存療法の切除断端の病理診断の標準化と術後観察の適正化に関する研究	稲治 英生	乳腺・内分泌外科	1,100	補 厚生労働省
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	今村 文生	呼吸器内科	900	補 厚生労働省
成人難治性造血器腫瘍に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植法の確立に関する研究	平岡 諦	血液化学療法科	1,000	補 厚生労働省
肺がんの要因と病態に関する研究	東山 聖彦	呼吸器外科	700	補 厚生労働省
標準的乳がんセンチネルリンパ節生検法の実施要綱に関する研究	元村 和由	呼吸器外科	1,300	補 厚生労働省
進行肝胆膵がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	井岡 達也	検診部消化器検診科	500	補 厚生労働省
難治がんの総合的な対策に関する研究	井上 徳光	研究所分子遺伝学部門	1,200	補 厚生労働省
がん外科治療における形成再建手技の確立に関する研究	栗田 智之	耳鼻咽喉科	500	補 厚生労働省
生検組織や細胞を用いたがんの治療感受性予知法および治療効果判定法の確立にかんする研究	飯塚 徳重	病理・細胞診断科	500	補 厚生労働省
効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度化に関する研究	大島 明	がん相談支援センター	2,000	補 厚生労働省
革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究	中山 富雄	調査部疫学課	26,988	補 厚生労働省
新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断制度の向上に関する研究	中山 富雄	調査部疫学課	3,000	補 厚生労働省
がん罹患、死亡動向の実態把握の研究	井岡亜希子	調査課	1,200	補 厚生労働省
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	井岡 達也	検診部消化器検診科	3,000	補 厚生労働省
院内がん登録の標準化と普及に関する研究	津熊秀明	調査部	700	補 厚生労働省
日中両国を含む東アジア諸国におけるがん対策の質の向上と標準化を目指した調査研究	田中 政宏	調査部調査課	1,500	補 厚生労働省
がん患者の医療機関受診に関する動態調査	津熊 秀明	調査部	11,932	補 厚生労働省
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	荒木 信人	整形外科	1,200	補 厚生労働省
咽喉頭がんの頸部リンパ節転移に対する標準的治療法の確立に関する研究	藤井 隆	耳鼻咽喉科	1,000	補 厚生労働省

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究補助費等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
WEB版がんよろず相談システムの構築と活用に関する研究	柏木 雄次郎	脳神経科	200	補 厚生労働省
治癒切除不能進行胃癌に対する減量手術の意義に関する研究	宮代 勲	消化器外科	1,600	補 厚生労働省
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究	飯石 浩康	診療局長	1,100	補 厚生労働省
早期前立がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	宇佐美 道之	泌尿器科	300	補 厚生労働省
限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	今村 文生	呼吸器内科	1,000	補 厚生労働省
再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	今村 文生	呼吸器内科	800	補 厚生労働省
大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究	大植 雅之	消化器外科	800	補 厚生労働省
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法の確立に関する研究	大植 雅之	消化器外科	1,000	補 厚生労働省
臨床病期Ⅱ・Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術に関するランダム化比較試験	大植 雅之	消化器外科	1,500	補 厚生労働省
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	井岡 達也	検診部消化器検診科	0	補 厚生労働省
受診率向上につながる検診のあり方や、普及啓発の方法に関する研究	田中 政宏	調査部調査課	1,000	補 厚生労働省
高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究	西山 謹司	診療局長	500	補 厚生労働省
肉腫および悪性中皮腫を標的破壊する腫瘍溶解性ウイルスベクターのシードストックおよび臨床用試薬の製造とその安全性・有効性に関する研究	高橋 克仁	研究所病態生理学部門	18,159	補 厚生労働省
肺癌移植マウスを用いた遺伝子発現プロファイル解析による分子標的薬の皮膚毒性に関する解析	谷口 一也	研究所免疫学部門	5,000	補 厚生労働省
BCG-CWを用いた抗がん免疫応答の再構築とそのメカニズム	赤澤 隆	研究所分子遺伝学部門	1,690	補 文部科学省
癌細胞の擬似的微生物の化ツールの開発とワクチンへの応用	赤澤 隆	研究所分子遺伝学部門	9,100	補 文部科学省
がん浸潤転移に至る冗贅組織構造の再構築	三好 淳	研究所分子生物学部門	6,800	補 文部科学省
オートファジーを介した放射線増感作用の研究	遠藤洋子	研究所生化学部門	1,170	補 文部科学省
がん細胞の極性形成の異常と細胞接着シグナリング(神戸大学高井義美教授)	岡本 三紀	研究所分子生物学部門	10,000	補 文部科学省
肉腫幹細胞の性状解析とウイルス工学を応用した幹細胞標的医薬の開発	高橋 克仁	研究所病態生理学部門	25,300	補 文部科学省
ウイルス好学を宇要した肉腫標的医薬の開発	山村 倫子	研究所病態生理学部門	1,500	補 文部科学省
骨・軟部腫瘍の転移に対するSSXを標的とした治療法の開発	吉岡 潔子	研究所生物学部門	1,700	補 文部科学省
IGF・P13K・mTORシグナルの抑制を中心とした癌の低酸素耐性機構の解明	井上 正宏	研究所生化学部門	1,400	補 文部科学省
転写因子PBX1を介した抗アポトーシス経路と転移との関連の解明	富田 裕彦	病理・細胞診断科	1,700	補 文部科学省
骨芽細胞の運動制御と臨床応用	伊藤 和幸	研究所生物学部門	1,600	補 文部科学省
微少遺伝子変異の高感度検出によるゲノム編集耐性予測	谷口 一也	研究所免疫学部門	1,340	補 文部科学省
遺伝子治療を併用した樹状細胞による新規癌免疫治療法の研究	赤澤 隆	研究所分子遺伝学部門	100	補 文部科学省
遺伝子発現解析に基づいた悪性神経膠腫の治療反応予測性モデルの実用化に関する研究	加藤 菊也	研究所免疫学部門	500	補 文部科学省

計 60

(注)

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発

及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Therapeutic Research. 30(1): 17-24 (2009. 1)	拡張性心不全(拡張不全)の病態と治療を考える.	堀 正二	総長
JACC cardiovascular Interventions. 1(5): 469-476 (2008. 10)	Percutaneous Coronary Intervention Plus Medical Therapy Reduces the Incidence of Acute Covonary Syndrome More Effectively Than Initial Medical Therapy Only Among Patiento with Low-Risk Coronary Artery Disease A Randomized, Comparative, Multicenter Study	Hori.M	総長
J. Bioby Chemist 283 (35): 24234-24244 (2008. 8. 29)	Interaction of Scaffolding Adaptor Protein Gab1 with Tyrosine Phosphatase SHP2Negatively Regulates IGF-I-dependent Myogenic Differentiation via the ERK 1/2 Signaling Pathway	Koyama.T	名誉総長
Gastrointestinal Endoscopy. 69 (2): 213-218, 2009	Quantitative analysis of the color change after iodine staining for diagnosing esophageal high-grade intraepithelial neoplasia and invasive cancer	Ishihara R	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy. 68(6):1066-72, 2008	Comparison of endoscopic mucosal resection and endoscopic submucosal dissection for en bloc resection of early esophageal cancers in Japan	Ishihara R	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy. 68 (5): 975-81, 2008	nfrared endoscopic system for bleeding point detection after flushing with indocyanine green solution	Ishihara R	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy. 67 (4): 745-747, 2008	Endoscopic resection of the esophageal squamous cell carcinoma overlying leiomyoma	Ishihara R	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy. 67 (6): 799-804, 2008	Local recurrence of large squamous cell carcinoma of the esophagus after endoscopic resection	Ishihara R	消化器内科
Cancer. 112(10):2166-2172 (2008)	Long-term outcome of esophageal mucosal squamous cell carcinoma without lymphovascular involvement after endoscopic resection	Ishihara R	消化器内科
Gastrointestinal endoscopy. 68: 146-147 (2008. 4)	A case of intraepithelial neoplasia in the oropharynx detected by endoscopic screening with narrow-band imaging videoendoscopy	Uedo N	消化器内科
Gut and Liver. (2008.3.2)	What can we see in the different lights?	Uedo.N	消化器内科
In: Tajiri H, M Nakajima, K Yasuda, ed. New Challenges in Gastrointestinal Endoscopy, Tokyo, Springer, 2008: 191-199	Autofluorescence imaging video-endoscopy system for diagnosis of superficial gastric neoplasia	Uedo.N	消化器内科
Endoscopy. 40: 881. (2008)	Light blue crest (blue fringe): endoscopic diagnosis of pathology	Uedo.N	消化器内科
Digestion. 2008; 78 (2-3):113-9. Epub 2008 Nov 20	Predictive factors for metachronous gastric cancer in high-risk patients after successful Helicobacter pylori eradication	Uedo.N	消化器内科
Pancreas. 36: 236-240 (2008)	In situ Telomerase activity in pancreatic juice may discriminate pancreatic cancer from othe pancreatic diseases	Uehara H	消化器内科

Gut. 57: 1561-1565 (2008)	Development of ductal carcinoma of the pancreas during follow-up of branch duct intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas	Uehara H	消化器内科
消化器内視鏡. 第20巻: (9号) 1432-1436 (2008.9.1)	ESDスキルアップ	上堂文也	消化器内科
胃と腸. 医学書院. 43巻 10号 (2008.9.1)	自家蛍光内視鏡による食道癌の診断	上堂文也	消化器内科
消化器の臨床. 2008; 11: 202-4	最新の食道・胃腫瘍性病変の内視鏡治療:内視鏡治療後の経過観察をどう進めるか	鼻岡 昇	消化器内科
臨床消化器内科. 24巻1号:115-118 (2009.1.1)	狭帯域光内視鏡(NBI)拡大観察が癌の診断に有用であった早期胃癌の1例	上堂文也	消化器内科
日本消化器病学会雑誌. 105 (2008) 529-534 (2008.4.4)	A型胃炎に合併した胃カルチノイドに内視鏡治療を行った1例	山本俊祐	消化器内科
JOURNAL OF BRONCHOLOGY. 15: 146-151 (2008. 7)	Three-dimensional Conformal Radiation Therapy for In Situ or Early Invasive Central Airways Lung Cancer	Nishino.K	呼吸器内科
J Inf Chemother. 14: 361-367 (2008)	Fulminant septicemia of Bacillus cereus resistant to carbapenem in a patient with biphenotypic acute leukemia	Hiraoka A	血液・化学療法科
日本医事新報. 4387: 89-90 (2008)	発熱性好中球減少症について	吉田 均	血液・化学療法科
Therapeutic Research. Vol. 29 No.10: 18-21 (2008. 10)	血小板増多症が原因と考えられた慢性肺血栓塞栓症による肺高血圧症に対してボセンタンが有効であった1例	和泉匡洋	循環器内科
Cardiac Practice. 20:7-11 (2009)	SAS診断「睡眠時呼吸障害と循環器疾患」	和泉匡洋	循環器内科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery. Sprenger Japan 2008. 56: 512-514 (2008)	Surgical treatment for lung cancer in the left lung complicated by isolated right thoracic isomerism	Kanzaki.R	消化器外科
The pancreas second ed, Beger HG. Buchler MW.Eds.Blackwell Publishing,Oxford UK:776-786 (2008)	Survival and late morbidity after pancreatic cancer resection	Ishikawa O	消化器外科
Am J Pathol. 172(2):454-469 (2008)	Inhibition of autophagy prevents hippocampal pyramidal neuron death after hypoxic-ischemic injury	Koike M	消化器外科
Ann Surg Oncol. 15(6): 1640-1643 (2008.6)	Detection of Sentinel Node in Gastric Cancer Surgery by Indocyanine Green Fluorescence Imaging:Comparison with Infrared Imaging	Miyashiro I	消化器外科
Analytical Biochemistry. 364: 37-50 (2007)	Novel fucogangliosides found in human colon adenocarcinoma tissues by means of glycomic analysis	Noura.S	消化器外科
Oncology Report. 20(4): 745-750 (2008)	Evaluation of lateral region sentinel nodo for rectal cancer based on micrometastases determined by reverse transcription-polymerase chain reaction	Noura.S	消化器外科
The American Journal of Surgery. 196: 130-134 (2008)	A simple and safe anastomosis in pancreaticogastrostomyusing mattress sutures	Ohigashi H	消化器外科

International Journal of Clinical and Experimental Pathology. 2: 154-162 (2009)	Precursor cancer cells in the human colorectal cancer tissue	Ohue. M	消化器外科
Dig Surg. 25(4): 319-324 (2008)	Doubling time of CEA is a significant prognostic factor after the surgical resection of locally recurrent rectal cancer	Tanaka K	消化器外科
Esophagus. 5: 75-80 (2008)	Excess visceral fat accumulation is a risk factor for postoperative systemic inflammatory response syndrome in patients with esophageal cancer	Tanaka K	消化器外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 136(1):205-212 (2008)	Lack of fludeoxyglucose F 18 uptake in posttreatment positron emission tomography as a significant predictor of survival after subsequent surgery in multimodality treatment for patients with locally advanced esophageal squamous cell carcinoma	Yano M	消化器外科
J Surg Res. 145(1):5-12 (2008)	Injection of LPS causes transient suppression of biological clock genes in rats	Yano M	消化器外科
2.肝・胆・膵 こんな時どうするQ&A. 上西紀夫, 中尾昭公編集. (株) 中外医学社. (東京都) 179-181 (2008. 10. 10)	膵癌に対する大動脈周囲(16番)リンパ節郭清の意義	石川 治	消化器外科
外科. 70 (6): 650-654 (2008. 6)	術前化学放射線療法の有効性	大東弘明	消化器外科
外科治療. 98 (増): 211-215 (2008)	膵癌に対する補助化学(放射線)療法	大東弘明	消化器外科
手術. 63(3):369-373 (2009.3.15)	膵消化管吻合時の膵組織損傷の最小化を目指した膵断端陥入式膵胃壁. マントレス縫合法	大東弘明	消化器外科
術. 62 (4): 455-460 (2008)	胃癌におけるセンチネルリンパ節同定法	宮代 勲	消化器外科
消化器外科. 31 (5): 883-886 (2008)	胃癌のすべて 特殊な胃癌 粘膜下腫瘍様胃癌	宮代 勲	消化器外科
癌と化学療法. 34 (12): 1937-1939 (2007)	大腸癌腹腔洗浄細胞診の意義と腹膜播種の予防	谷田 司	消化器外科
ナースのための術前・術後マニュアル. 跡見 裕. 照林社 (東京). 194-196	術前・術後のポイント 膵頭十二指腸切除術	岡野美穂	消化器外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 14: 355-362 (2008)	In vitro chemosensitivity test using the collagen gel droplet embedded culture drug test (CD-DST) for malignant pleural mesothelioma: Possibility of clinical application	Higashiyama.M	呼吸器外科
Eur J Cardio-thorac Surg. (2008)	Prognostic value of intraoperative pleural lavage cytology for lung cancer without carcinomatous pleuritis: Importance in patients with early stage disease during long-term follow up	Higashiyama.M	呼吸器外科
Ann Thorac Surg. 86: 910-911 (2008)	Phase I / II trial of hyperfractionated radiation and chemotherapy followed by surgery in stage III lung cancer	Kodama.K	呼吸器外科

J Comput Assist Tomogr. 32 (5): 792-798 (2008)	Performance evaluation of 4 measuring methods of ground-glass opacities for predicting the 5-year relapse-free survival of patients with peripheral nonsmall cell lung cancer: A multicenter study	Kodama.K	呼吸器外科
Eur J Cardiothorac Surg. 34: 1068-1074 (2008)	Treatment strategy for patients with small peripheral lung lesion (s): intermediate-term results of prospective study	Kodama.K	呼吸器外科
Hum Cancer Biol. 14: 677-684 (2008)	Aberrant expression of Connexin 26 is associated with lung metastasis of colorectal cancer	Okami J	呼吸器外科
Cancer Sci. 99 (5): 929-935 (2008)	Intratumor heterogeneity of epidermal growth factor receptor mutations in lung cancer and its correlation to the response to gefitinib	Okami J	呼吸器外科
Dig Surg. 25(3): 220-225 (2008)	Metastatic tumor doubling times is an independent predictor of intrapulmonary recurrence after pulmonary resection of solitary pulmonary metastasis	Tomimaru Y	呼吸器外科
Dis Esoph. 21(4): 281-287 (2008)	Correlation between pretherapeutic D-dimer levels and response to neoadjuvant chemotherapy in patients with advanced esophageal cancer.	Tomimaru Y	呼吸器外科
日本臨床. 66 (6): 398-402 (2008)	肺癌—基礎臨床研究のアップデート— 臨床研究IV 治療: 肺癌の縮小手術	兒玉 憲	呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌. 22 (5): 860-860 (2008)	胸腔鏡下に摘出した多房性胸腺嚢胞の一例	兒玉 憲	呼吸器外科
外科治療. 98: 235-240 (2008)	進行非小細胞肺癌の補助化学療法	兒玉 憲	呼吸器外科
外科治療. 98 (3): 281-282 (2008)	高齢者肺癌(80歳以上)に対する治療戦略	岡見次郎	呼吸器外科
日本呼吸器外科誌. 22 (2): 70-76 (2008)	分化度の異なる胸腺粘表皮癌2例の臨床病理学的検討	前田 純	呼吸器外科
日本呼吸器外科学会誌. 22 (2): 186-192 (2008)	分化度の異なる胸腺粘表皮癌2例の臨床病理学的検討	前田 純	呼吸器外科
肺癌の臨床 MOOK 2008-2009. 117-127 (2008)	肺癌手術における術中洗浄細胞診	東山聖彦	呼吸器外科
日本胸部臨床. 67: 58-61 (2008. 11) 増刊	転移性肺腫瘍において注意すべき腫瘍マーカー	尾田一之	呼吸器外科
Ann Surg. 247: 839-842 (2008)	Accuracy of imprint cytology for intraoperative diagnosis of sentinel node metastases in breast cancer	Motomura K	乳腺・内分泌外科
外科治療. 98: 924-929 (2008)	乳癌化学療法の進歩 再発乳癌に対する化学療法	稲治英生	乳腺・内分泌外科
臨床と研究. 85 : 32-34 (2008)	外来化学療法の実際「乳癌」	稲治英生	乳腺・内分泌外科

Mamma. 58: 16-22 (2008)	乳癌の外科療法 これからの歩みとこれからの課題	小山博記	乳腺・内分泌外科
2008年版. 63-64 (2008.9)	乳癌診療ガイドライン2. 外科療法	菰池佳史	乳腺・内分泌外科
対外循環技術. 35 (1): 23-28 (2008)	下大静脈浸潤癌手術における体外循環方法の検討—下大静脈腫瘍栓を伴う腎癌手術におけるV-Vハイパス循環補助の有用性について	植田隆介	心臓血管外科
外科. 70 (2): 178-182 (2008)	腫瘍栓の外科治療—切除のコツと予後からみた適応、5. 下大静脈心房内腫瘍栓	佐々木洋	心臓血管外科
Hum Pathol. 39: 1673-1679 (2008 Jul 23)	Expression of cardiac ankyrin repeat protein, CARP, in malignant tumors: diagnostic use of CARP protein immunostaining in rhabdomyosarcoma	Araki N	整形外科
Mol Imaging Biol. 10 (4): 224-229 (2008 Jul-Aug)	Prognostic Value of FDG-PET in patients with oropharyngeal carcinoma treated with concurrent chemoradiotherapy	Enomoto K	整形外科
Clin Nucl Med. 2008. 33 (6): 421-422 (2008 Jun)	FDG PET imaging of myxofibrosarcoma on the sphenoid sinus	Enomoto K	整形外科
Ann Nucl Med. 22 (4): 261-267 (2008 May)	Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma studied with FDG-PET: a comparison with CT and endoscopic findings	Hamada K	整形外科
Clin Nucl Med. 34 (1): 15-7 (2009 Jan)	FDG-PET evaluation of chondromyxoid fibroma of left ilium	Hamada K	整形外科
Ann Nucl Med. 22 (8): 699-705 (2008 Oct)	18F-FDG-PET of musculoskeletal tumors: a correlation with the expression of glucose transporter 1 and hexokinase II	Hamada K	整形外科
J Orthop Sci. 13 (4): 304-12 (2008, July)	Validation of radiographic response evaluation criteria of preoperative chemotherapy for bone and soft tissue sarcomas: Japanese Orthopaedic	Naka N	整形外科
脊椎脊髄ジャーナル. 21 巻7号: 730-737 (2008. 07)	【他臓器癌の脊椎・脊髄への転移 その診断のコツとpitfall】疫学的考察ならびに診断のエッセンス 原発巣診断と各癌の特徴	荒木信人	整形外科
日本整形外科学会雑誌. 82(4): 255-70 (2008.Apr)	骨・軟部悪性腫瘍に対する集学的治療体系の進歩とその最前線	上田孝文	整形外科
診断病理. 25 (2): 129-31 (2008, Apr)	卵巣原発primitive neuroectodermal tumorの1例	木村勇人	整形外科
J Altern Complement Med. 14 (6): 753-755, 2008.7	Effectiveness of the herbal medicine daikenchuto for radiation-induced enteritis	Kamiura. S	婦人科
Obstet Gynecol. 112(2): 491-493, 2008.8	Successful Management of a Leiomyomatosis Peritonealis Disseminata With an Aromatase inhibitor.	Masuhara. K	婦人科
Gynecol Obstet Invest. 66:14-17, 2008.9	Relationship between Metabolic Syndrome and Uterine Leiomyomas:A Case-Control Study	Takeda. T	婦人科

Am J Clin Pathol. 130(3): 389-400, 2008.9	Clonality and HPV infection analysis of concurrent glandular and squamous lesions and adenosquamous carcinomas of the uterine cervix	Ueda, Y	婦人科
Jpn J Clin Oncol. 38: 122-128 (2008)	Prospective Evaluation of Selection Criteria for Active Surveillance in Japanese Patients with Stage T1cN0M0 Prostate Cancer	Meguro N	泌尿器科
Oncology. 74: Suppl1:109 (2008)	Role of a prefectural cancer base hospital in Japan	Meguro N	泌尿器科
J Clin Oncol. 26(No. 15S): 682 (May 20, 2008)	Extragenital germ cell tumors: Retrospective analysis at a single institution in Japan	Kakimoto.K	泌尿器科
International Journal of Urology. 15: Page639-641 (2008.07)	Hyperbaric oxygen therapy for radiation-induced hemorrhagic cystitis	Yoshida T	泌尿器科
日本臨床. 66 : 182-185 (2008)	前立腺肥大症と前立腺癌	目黒則男	泌尿器科
泌尿器ケア. 13: 15-21 (2008)	泌尿器癌の進行に伴う身体症状 前立腺癌、膀胱癌、腎癌の終末期	目黒則男	泌尿器科
森山寛他編 第3版. 医学書院(東京), pp459-461, 2008. 6	今日の耳鼻咽喉科・頭頸部外科 治療指針(分担執筆)	吉野邦俊	耳鼻咽喉科
頭頸部癌. 34 (1): 1-8 (2008)	高齢者・合併症をもつ進行癌症例の治療-手術症例-	藤井隆	耳鼻咽喉科
頭頸部癌. 34 (3): 345-351 (2008)	喉頭がん(T2, T3)治療法の選択-「手術」側の立場から-	藤井隆	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床. 54 (補1): s67-s72 (2008)	化学放射線療法後の手術治療-原発巣について-	藤井隆	耳鼻咽喉科
頭頸部癌. 34 (3): 235-240 (2008)	頭頸部外科医・形成外科医間の協調性とQOL向上	上村裕和	耳鼻咽喉科
JOHNS. 24(3): 477-480 (2008)	喉頭全摘出術のための臨床解剖	上村裕和	耳鼻咽喉科
頭頸部癌. 34 (3): 424-432 (2008)	咽頭喉頭頸部食道摘出後の遊離空腸移植に関するアンケート調査	栗田智之	耳鼻咽喉科
Int J Radiation Oncology Biol Phys. 1-6 (2008)	Effect of High-Dose-Rate 192Ir source activity on late rectal bleeding after intracavitary radiation therapy for uterine cervix cancer	Suzuki.O	放射線治療科
Am J Neuroradiol. 29: 1071-1075-335 (2008)	Subtraction 3D CT Angiography with the Orbital Synchronized Helical Scan Technique for the Evaluation of Postoperative Cerebral Aneurysms Treated with Cobalt-Alloy Clips	Kashiwagi N	放射線診断科
臨床画像. 24(11): 1352-1360	特集「全身MRI」	中西克之	放射線診断科
放射線医学. 医歯薬出版. P150-163	「関節の磁気共鳴画像法」	中西克之	放射線診断科
画像診断. 28 (13): 1444-1445 (2008)	Case based review 珠玉の教訓症例から学ぶ 虫垂癌	村田昌之	放射線診断科
画像診断 28 (13): 1418-1419 (2008)	慢性硬化性顎下腺	柏木伸夫	放射線診断科

臨床放射線. 53 (9): 1147-1149 (2008)	前胸部に発生したspindle cell lipomaの一例	高橋洋人	放射線診断科
臨床放射線. 53 (8): 1029-1033 (2008)	MRI拡散強調像を施行したブロディー骨膿瘍の一例	川田 豊	放射線診断科
日本臨牀. 66(4): 766- 770, 2008. 4	特集: 高尿酸血症・痛風Update: 高尿酸血症とメタボリックシンドローム	山崎知行	臨床検査科
日本臨牀. 66 (増刊号4) : 66-70, 2008.6	尿酸代謝異常(新時代の糖尿病学(2))ー病因・診断・治療研究の進歩	山崎知行	臨床検査科
Pathology. 40: 641-645 (2008)	Heterologous carcinosarcoma of Douglas' pouch with adenocarcinomas of the fallopian tube and the peritoneal cavity	Kataoka. T	病理細胞診断科
Paediatr Anaesth. 18: 350-352 (2008.4)	Postoperative management of cleft lip repair using dexmedetomidine in a child with bidirectional superior cavopulmonary shunt	Kagawa K	中央手術科
J Anesth. 22: 397-403 (2008.1)	Dopamine D2 receptor Taq IA polymorphism is associated with postoperative nausea and vomiting	Kuri M	中央手術科
癌と化学療法. 36: 417- 424 (2009)	切除不能胃癌におけるSecond-line化学療法としてのS-1 Based Sequential Chemotherapyの有効性	杉本直俊	臨床腫瘍科
(Begger H.G.,Matsuno S, CameronJ.L.) 61-67. Springer (Heidelberg). (2008)	Ultrasound. Disease of the Pancreas Current Surgical Therapy	Tanaka S	検診部
超音波医学. 35(2):202- 218(2008)	超音波による頸動脈病変の標準的評価法(案)	田中幸子	検診部
超音波医学. 36(1):3- 12(2009)	造影エコーによる肝腫瘍の鑑別診断	田中幸子	検診部
肝胆膵. 56(6):913- 919(2008)	経過観察の方法と期間ー膵癌検診の応用	中泉明彦	検診部
消化器科.46(1):96- 101(2008)	悪性肝外胆管狭窄に対するステント留置術	向井秀一	検診部
消化器内視鏡.20(7):1052-1060(2008)	嚢胞発見が膵管癌の診断につながるかー膵癌と嚢胞性病変との関係ー	中泉明彦	検診部
肝胆膵画像.10(6):551- 557(2008)	早期膵癌のスクリーニングと診断へのアプローチー膵管拡張発見が膵管癌の診断につながるか？	中泉明彦	検診部
臨床腫瘍プラクティス. 4(2):118-121(2008)	膵がんの病期分類と治療方針	井岡達也	検診部
消化器科. 48(2):234- 238(2009)	切除不能の局所進行膵癌に対するGemcitabine・S-1併用の化学放射線療法を試み	井岡達也	検診部
内科.102(4):658- 662(2008)	早期膵癌発見のための腹部超音波テクニック	高野保名	検診部
J. Hepatology 49:223-32, 2008	Prognostic value of pretreatment levels of tumor markers for hepatocellular carcinoma on survival after curative treatment of patients with HCC	Toyoda H	医療情報部
Veterinary immunology and immunopathology. 126(3-4): 388-391, 2008.12	Construction of an expression vector for improved secretion of canine IL-18	Akazawa T	研究所
Journal of Immunology. 180(11): 7175-7183, 2008.6	Tumor-secreted lactic acid promotes IL-23/IL-17 proinflammatory pathway	Akazawa T	研究所

Cancer Lett. 268, 82-8 (2008)	IGFBPs contribute to survival of pancreatic cancer cells under severely hypoxic conditions	Endo H	研究所
Cancer Sci. 99, 2395-401 (2008)	Insulin-like growth factor stimulation increases radiosensitivity of a pancreatic cancer cell line through endoplasmic reticulum stress under hypoxic conditions	Endo H	研究所
Biophys Res Commun. 374, 111-6 (2008)	Blocking CD147 induces cell death in cancer cells through impairment of glycolytic energy metabolism	Baba M	研究所
World J Gastroenterol. 14, 6473-80 (2008)	Adiponectin deficiency enhances colorectal carcinogenesis and liver tumor formation induced by azoxymethane in mice	Baba M	研究所
Biochem Biophys Res Commun. 2009 Aug 7;385(4):539-44.	Involvement of afadin in the formation and remodeling of synapses in the hippocampus	Majima T	研究所
Cancer Sci. 2009 Apr;100(4):608-16.	Increased susceptibility to spontaneous lung cancer in mice lacking LIM-domain only 7	Tanaka-Okamoto M	研究所
J Pathol. 2009 Jan;217(1):42-53.	Role of Necl-5 in the pathophysiology of colorectal lesions induced by dimethylhydrazine and/or dextran sodium sulphate	Abe A	研究所
Methods Enzymol. 2008;438:131-9.	Analysis on the emerging role of Rab3 GTPase-activating protein in Warburg Micro and Martsof syndrome	Sakane A	研究所
J Immunol. 2008 Apr 1;180(7):4774-84.	Doc2 alpha and Munc13-4 regulate Ca(2+) -dependent secretory lysosome exocytosis in mast cells	Higashio H	研究所
Molecular Cancer 7(42): (2008)	Evidence for efficient phosphorylation of EGFR and rapid endocytosis of phosphorylated EGFR via the early/late endocytic pathway in a gefitinib-sensitive non small cell lung cancer cell line	Yoshioka K	研究所
Bone. 43: 869-879 (2008)	IGF-I Secreted by osteoblasts acts as a potent chemotactic factor for osteoblasts	Nakasaki M	研究所
J. Bone Miner. Metab. 27:158-167(2009)	Transient dynamic actin cytoskeletal change stimulates osteoblast differentiation	Higuchi C	研究所
Canacer Science. 99: 929-935 (2008)	Intratumor heterogeneity of EGFR mutations in lung cancer and its correlation to the response to gefitinib	Taniguchi. K	研究所
Nature Medicine. 8: 939-948 (2008)	RPN2 gene confers docetaxel resistance in breast cancer	Homma. K	研究所
Cancer Science. 100: 165-172 (2009)	Using gene expression profiling to identify a prognostic molecular spectrum in gliomas	Shirahata. M	研究所
International Journal of Cancer. (2009)	Efficient eradication of hormone-resistant human prostate cancers by inactivated Sendau virus particle	Miyamoto. Y	研究所
Lab. Invest. 88: 856-864 (2008)	Stat4 suppresses the proliferation of connective tissue-type mast cells	Nishizawa. Y	研究所
生体の科学. 59, 516-521 (2008)	mTOR経路と小胞体ストレス	井上正宏	研究所
分子細胞治療. 7:52-55 (2008)	遺伝子発現解析の動向	加藤菊也	研究所

頭頸部自律神経. 22: 29-33 (2008)	気管支喘息のnear fatal asthma death, asthma deathにおける頸動体低酸素感知不能例の家族歴からみた遺伝的分析	西澤恭子	研究所
頭頸部自律神経. 22: 34-36 (2008)	自律神経障害を伴う糖尿病に合併した気管支喘息併発の患者の喘息死予防法	西澤恭子	研究所
Cancer Sci . 99: 2260-2263 (2008)	Hospital procedure volume and prognosis with respect to testicular cancer patients: a population-based study in Osaka Japan	Ioka A	調査部
Oncology. 74. 1-2, 37-41 (2008)	Phase II Study of a Combination of S-1 and Paclitaxel in Patients with Unresectable or Metastatic Gastric Cancer	Narahara H	調査部
Ann Int Med. 148, 820-826 (2008)	Declining Incidence of Hepatocellular Carcinoma in Osaka, Japan, from 1990 to 2003	Tanaka H	調査部
Jpn J Clin Oncol (10.1093) (2008)	Trends of centralization of childhood cancer treatment between 1975 and 2002 in Osaka, Japan	Ito Y	調査部
Jpn J Clin Oncol. 38, 2: 146-57 (2008)	Partial cancer prevalence in Japan up to 2020: estimates based on incidence and survival data from population-based cancer registries	Tabata N	調査部
Cancer Science. 11, (99) 2260-2263 (2008)	Hospital procedure volume and prognosis with respect to testicular cancer patients: a population-based study in Osaka, Japan	Suzumura S	調査部
Jpn J Clin Oncol. 39, (2009)	Trends in colorectal cancer incidence by subsite in Osaka, Japan	Toyoda Y	調査部
Jpn J Clin Oncol. 8, (38) 534-539 (2008)	Trends in Lung cancer incidence by histological type in Osaka, Japan	Toyoda Y	調査部
Br J Cancer. 98, (10) 1602-7 (2008)	Sensitivity and specificity of lung cancer screening using chest low-dose computed tomography	Toyoda Y	調査部
日本医師会雑誌. 137 (2) 302-307, (2008)	地域がん登録の現状と将来展望	津熊秀明	調査部
日本臨牀. 66 (5) 51-56, (2008)	胃癌の罹患率と死亡率の動向-日本と世界	津熊秀明	調査部
胃と腸. 43. (12) 1777-83 (2008)	早期胃癌の自然史に関する前向き研究-胃癌診療への考察	津熊秀明	調査部
全自病協雑誌. 48. (1) 1-13 (2009)	がん専門診療施設を利用した入院患者の満足度:平成19年度調査結果と6年間の変化の考察	田中政宏	調査部
厚生指標. 55 (6) 11-15, (2008)	効果的ながん対策による死亡減少効果の一試算	井岡亜希子	調査部
呼吸と循環. 56 (5) 465-468 (2008)	CT肺がん検診の有効性の検討	中山富雄	調査部
日本臨床. 6 (66) 213-218 (2008)	胸部単純X線と喀痰細胞診を用いた肺癌検診の評価	中山富雄	調査部
日本病院薬剤師会雑誌. 44: 601-604	抗がん剤調製用安全キャビネットの清拭用洗浄液の比較	望月千枝	薬局
日本病院薬剤師会雑誌. 44: 1511-1514	パクリタキセルとワルファリンの相互作用に関する調査	高木麻里	薬局

日本病態栄養学会誌. Vol.11(4): 357-364 (2008)	「メタボリックシンドロームを有する糖尿病患者における循環器疾患対策を視野に入れた食事療法の考え方への提言」	福田也寸子	栄養管理室
--	---	-------	-------

計164

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 石川 治
管理担当者氏名	マネージャー 頼友明、同 山形三津留、薬局長 榊 喜恵、医療情報部主任部長 松永 隆、放射線診断科主任部長 中西克之

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部、中央手術室、看護部、放射線診断科、各診療科、病歴管理室	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に患者一カルテ方式とし、一つの ID 番号により病歴管理室で集中管理を行っている。 エックス線写真は、放射線診断科で集中保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務人事G 人事管理システムで保管
	高度の医療の提供の実績	医療情報部 コンピュータ管理他
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務人事G 年度毎にファイルに綴じて保管
	高度の医療の研修の実績	総務人事G 年度毎にファイルに綴じて保管
	閲覧実績	医事G 年度毎にファイルに綴じて保管
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事G 地域連携情報をファイルに綴じて保管
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画G 薬局 診療情報をファイルに綴じて保管 調剤情報をファイルに綴じて保管
確規保則の第9条の2及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部門
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	放射線診断科外来
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部門
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者総合相談室
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部門 ファイルに綴じて保管
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部門 年度毎にファイルに綴じて保管
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部門 年度毎にファイルに綴じて保管
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部門 年度毎にファイルに綴じて保管

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	放射線診断科外来 ファイルに綴じて保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	放射線診断科外来 年度毎にファイルに綴じて保管
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	放射線診断科外来 年度毎にファイルに綴じて保管
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	放射線診断科外来 年度毎にファイルに綴じて保管
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬局及び全部門
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	中央手術科
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	中央手術科 年度毎にファイルに綴じて保管
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	中央手術科 年度毎にファイルに綴じて保管
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	中央手術科 年度毎にファイルに綴じて保管		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 石川 治
閲覧担当者氏名	医療情報部主任部長 松永 隆、医事リーダー 藤井 薫
閲覧の求めに応じる場所	(窓口) 医事グループ (閲覧場所) 医療情報部

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	94.9%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	6,761人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,621人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	187人	
	D：初診の患者の数	7,838人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
<ul style="list-style-type: none"> 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (8) 名 非常勤事務 (2) 名 活動の主な内容： インシデント報告書の分析、再発防止策の策定及び部署での確認周知、医療安全管理委員会事務局、医療審議委員会事務局、担当医療安全管理者会議の運営、医療安全研修の企画実施、医療事故発生時の現場対応及び指導、医療安全にかかる連絡調整 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容： 医療安全管理体制、医療安全研修に関する基本方針、インシデント報告、医療事故発生時の対応、医療従事者と患者の情報共有、患者からの相談への対応、医療安全マニュアルの作成更新、医療安全管理に関する指針の公開 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 5 回
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： 医療事故調査委員会・医療事故対策本部・医療支援チームの設置、医療事故・インシデント等が発生した場合の情報収集及び患者等への対応、重大な医療事故発生時の速やかな救命治療活動及び発生原因の分析、再発防止策の立案、医療安全管理マニュアルの作成・見直し、医療安全に関する職員の教育・研修の企画・運営・評価、指導の徹底と事故発生の監視、医薬品に係る安全管理、医療機器の保守点検安全使用、病院機構本部・警察署・保健所・近畿厚生局・日本医療機能評価機構・社会保険事務局への報告 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： KYT、医療機器システム管理、酸素マスクとカニューラの安全な取扱い、アバチンの有害事象と院内トリアージ、ヒューマログミリオンペン、静脈注射研修、PCAポンプ説明会 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無) その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器システム管理、酸素マスク・カニューラの接続前の統一、ペースメーカー・ICD・アルコール綿花・人工内耳の問診表追加、患者基本情報 (身長・体重) 異常値入力時アラート表示システム、救急カート納品、ガムエラストックブジー追加、心電図モニター・ナースコール・PHS運動システムの全病棟配置 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染防止に係る基本的な考え方、委員会等組織に関する基本的事項、職員研修に関する基本方針、院内感染報告制度、院内感染発生時の対応、指針の公開</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>細菌分離状況および耐性菌発生状況の把握、サーベイランスデータ報告（手術部位感染、血管内留置血流感染、尿道留置関連尿路感染症）の把握、重症感染症発生状況の把握、抗MRSA薬・カルバペネム系抗生剤使用状況の把握、アウトブレイク発生時の指揮指導および改善策の実施状況の調査と見直し</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年23回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>標準予防策、適切な防護具の着脱の演習、手洗い演習、安全機能付き留置針の取り扱いの演習、マニュアルの読み合わせ、感染予防対策の基本手順と標準予防策に配慮した病院設計、病院清掃における医療安全と院内感染防止について、インフルエンザワクチンの豆知識、がん専門病院における感染対策、目で見えるがん患者の結核画像、血流感染と院内感染対策、敗血症診療ガイドライン</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症発症後の経過報告用紙の提出</p> <p style="text-align: right;">(有 無)</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 緩和医療に関する医療安全セミナー、アバスチン使用時の有害事象対応 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入、調剤室・外来及び入院部門における医薬品の管理、患者への医薬品の使用、臨床検査・画像診断部門における医薬品の使用、他施設との連携、事故発生時の対応、教育・研修 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理責任者は、医療安全部門と連携し、すべてのインシデント報告を受けている。その中から医薬品安全使用に関わるインシデントについて、医薬品安全管理委員会や医療安全担当者会議などで改善策を検討し実施している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 除細動器を含むBLS(一次救命処置)、MRI検査の安全性 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有 無) ・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置について実施した。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品医療機器総合機構から出される「医薬品医療機器等安全性情報」から情報を得ている。不具合のあった医療機器は厚生労働省に報告した。 	